

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO3 平成30年8月1日 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 西澤 慎治

信州型コミュニティスクールの取組がスタートし6年目を迎えました。北信地区では、国のコミュニティ・スクールを含め、すべての小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、それぞれの学校で地域の特色や地域とのつながりを生かした多様な取組が行われています。

そこで、各校の取組の情報を共有していただくために、「信州型コミュニティスクール北信地区活動だより」を定期的に発行し、これまでの学校訪問等をもとに各校の取組事例を紹介していきます。ご参考にしていただければ幸いです。

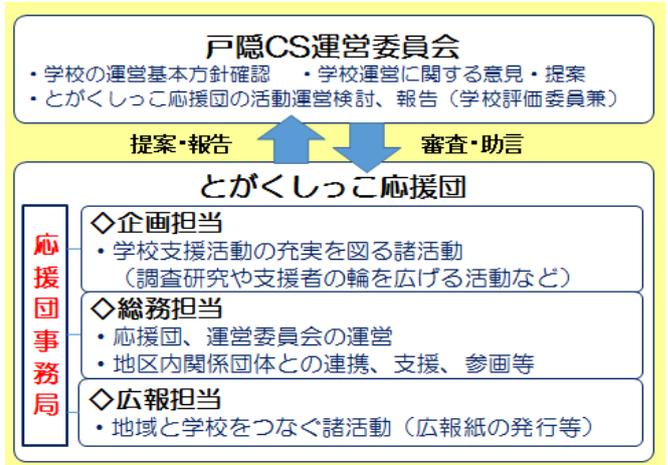


「運営委員会の充実」 長野市立戸隠小学校・中学校

■運営委員会を支える「とがくしっこ応援団」事務局

戸隠地区全体で取り組む戸隠コミュニティスクール（戸隠CS）には、支援活動組織「とがくしっこ応援団」があり、応援団事務局が設置されています。

応援団事務局では、推進役である7名の応援団長（地域コーディネーター）と先生方が課題別に担当業務を分担し、学校支援活動の検討はもちろん、情報交換会（研修会）の企画や広報誌の作成、運営委員会の運営等を行っています。応援団事務局で検討された企画は、運営委員会の場で提案、検討され、より具体的な活動が展開されています。



【広報担当部門による「かわら版」の発行】



【企画担当部門による「情報交換会」の開催】



年四回発行し、戸隠地区全戸に配布しています。温もりのある手書きの広報誌です。

先生方も参加し、グループで学校・子どもものこと、地域のことを語り合いました。



戸隠CS運営委員会は、「応援団事務局」が機能することで、学校と地域が一体となって子どもを育てる運営を行っています。



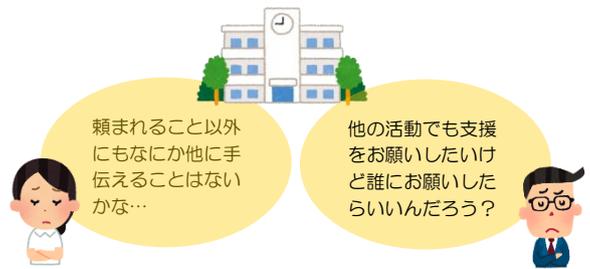
「ボランティアと学校のニーズをマッチング」

高山村立高山小学校

これまで…

読み聞かせ、クラブ・書写の講師などのボランティアを、学校が個人やグループへ個別に依頼

—個別依頼のため、ボランティアは思いを伝えづらい。学校は支援をだれに依頼してよいか迷う。



ボランティアと学校のニーズのマッチングを目指して

✓ ボランティアを登録制に。

読み聞かせなどの各活動の代表者を決め、コーディネーターと連絡調整する。

✓ ボランティアの窓口と学校の窓口を設置。

それぞれの窓口を担当するコーディネーターと教頭とのあいだで調整を行う。

✓ 打ち合わせ会・まとめの会を実施。

ボランティアと学校とが情報交換・共通理解・評価できる場を設ける。

—学校とボランティアのニーズが調整できるようになり、支援活動の広がりが生まれた。



一斉配信システムの活用

学校のニーズとボランティアを即時的につないでいます。

学校が一斉配信システムを使って登録ボランティアに呼びかけると…



〇月〇日、調理実習の補助ができる方はいらっしゃいますか？

OKですよ！

すぐに数名のボランティアが、OKの返事をくれました。

打ち合わせ会・まとめの会の実施

学校関係者とボランティアとが集う機会をつくりました。

打ち合わせ会では、ボランティア活動要項や活動計画、学校からの依頼を確認しました。年度末にはまとめの会を行い、お互いの活動や反省など情報交換をしました。

これまでの学校担当者と個々の支援ボランティアという縦のつながりに加え、ボランティア同士の横のつながりが生まれました。



広がる学校支援

関係者同士がつながったことで、支援活動の幅も広がりをみせています。

ある日の清掃時間。ほうきの掃き方、そうきんの絞り方、かけ方…、子どもたちは、ボランティアの皆さんの姿を真似ながら、掃除に取り組みます。清掃支援の日時は特に決まっていません。ボランティアの都合のつく日に入ります。

「無理せず、できる時に、できる人で取り組むこと」が長続きの秘訣です。

日常の教育活動の中に、ボランティアの皆さんがとけ込み、子どもたちの活動をあたたかく見守っています。



地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたいと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel : 026-234-9552 E-mail : hokushinky@pref.nagano.lg.jp